

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|------------------------|-----------|----|
| ○事業所名 | ハートアイランド | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年2月15日 ~ 2025/3/15 | | |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 23 (回答者数) | 13 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年2月15日 ~ 2025/3/15 | | |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 6 (回答者数) | 6 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年3月15日 | | |

○分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 生活空間の構造化。事業所の設備等、特性に応じたバリアフリー化や情報伝達等、環境上への配慮 | 事業所内の棚や扉等、児童の怪我が予測されるところにクッションやすき間の指挟み防止シートを設置している。 | 児童来所時に一連の工程がスムーズに行えるよう荷物の置く所の環境的配慮と構造化を目指している。 |
| 2 | 利用児童へのサービス提供の工夫 | 活動内容を通じて児童に新たな経験に繋がるよう職員間で話し合い情報共有をしながら立案と精査・実施をしている。 | 新たな取り組みとして、他の機関との交流の機会に繋がる企画を立案し検討している。 |
| 3 | | | |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|---|
| 1 | 支援の方向性 | 児童に対しての支援の方向性にすれ違いが生じることがある。 | 会社や事業所の方向性の提示や職員間でのカンファレンスや擦り合わせ等により改善が見込める場合がある。 |
| 2 | 児童への新しい経験と安全性への葛藤 | サービス提供をする中で児童にとって新しい経験に繋がるプログラムを立案する一方、安全に提供するにあたり安全性への不安が生じる。 | 様々なプログラムを提供する中で、職員間で情報共有し安全に実施する方法を精査していくことで提供の幅を広げていくことができるかもしれない。 |
| 3 | | | |